

地域包括支援センターだより③

さまざまな方面から皆さんを支えます！
～包括的・継続的ケアマネジメント支援業務～

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢の方やその家族が抱える悩みや心配ごとなどの相談を受け、保健師・看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士などが、相互に連携しながら「チーム」として支援を行っています。

その取組みを2カ月に1回、シリーズでお知らせします。
《問合せ》高年福祉課地域包括支援センター ☎24-2409

地域包括支援センターは こんな支援も行っています

地域包括支援センターは、地域の介護支援専門員(ケアマネジャー)が円滑に仕事できるように支援しています。

また、より暮らしやすい地域にするために、医療機関などさまざまな関係機関とのネットワークづくりにも力をいれています。

例えば、高齢者が病院を退院してから在宅での



生活にスムーズに移行できて、必要なサービスが途切れることなく継続して受けられるようにするために、ケアマネジャーが関係機関と連携を取

りやすいような協力体制の整備を行っています。

また、ケアマネジャーが抱える問題などについて、一緒に考えたりアドバイスを行ったりしています。

そして、地域のケアマネジャー相互の連携を図るために、ネットワークをつくったり、質の向上を目指して研修会などを実施しています。

ケアマネジャーは どんな仕事をしているの？

ケアマネジャーは、介護認定を受け、介護サービスを必要としている高齢者や家族の相談に応じ、自立支援を目的として、その方に合った介護サービスが利用できるように

介護支援計画を作成し、サービス提供事業者や施設などとの連絡調整を行っています。

ケアマネジャーは どんなにいるの？

それぞれの地域にある居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、



特別養護老人ホームや老人保健施設などに所属しています。

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんの総合相談窓口です。介護の事など心配なことがありましたら各地域にある地域包括支援センターに相談ください。

※各地域包括支援センターの電話番号は、7月25日発行の市広報紙をご覧ください。

認知症連携担当者を 配置しました！

10月から豊岡地域包括支援センターに、認知症連携担当者を配置し、認知症に関する医療や介護の相談に応じたリ、専門機関を紹介するなど、支援体制を強化しています。

私たちの子育てセンター ちよっときんせー『出石子育てセンター』⑤

出石子育てセンターは、今年10月、出石総合支所1階にリニューアルオープンしました。「おひさまらんど」という名前のとおり、日当たりの良い明るい広場です。そんな出石子育てセンターをハンドベルグループ「キラキラ★ママ」が紹介します。

《問合せ》出石子育てセンター ☎52-6188

子育て広場「おひさまらんど」

・午前10時～午後4時まで開いています。休館は、日・月曜日、祝日です。

・小学校に入学するまでの乳幼児とその保護者なら誰でも利用でき、申込みは不要です。

・授乳コーナーもあります。

・絵本コーナーでは、親子で絵本を楽しめます。

活動の広場「ほっかほか」

・登録制子育てグループの活動をします。年齢別にきりんグループ(第1火曜日)、かえるグループ(第2火曜日)、ひよこグループ(第4火曜日)に分かれて活動します。また、水曜日は全体活動日です。季節の行事をはじめ、わらべ歌など、さまざまな活動を行っています。自主グループの活動も

この部屋で行います。

子育て相談室

・乳幼児だけでなく、小・中学生の悩みも気軽に相談することが出来ます。

子ども用トイレ

・支所1階のトイレ内には、子ども用トイレとおむつ交換台が設置されています。

その他

・広場内には、家庭用の調理台があり、数人のグループであればクッキングもできます。



▲ハンドベルの練習風景

※私たち「キラキラ★ママ」は、自主的にハンドベルの練習をしながら、センターの事業などで演奏活動をしています。一緒に演奏しませんか。



世界の山陰海岸ジオパーク

シリーズ24 世界ジオパークになって①

竹野海岸、日和山、玄武洞公園などの山陰海岸国立公園や神鍋高原などを中心としたエリアが「山陰海岸ジオパーク」として、世界ジオパークに認定されました。このジオパークについて、市のジオパーク普及啓発専門員(北但層群化石研究会代表)の三木武行が、シリーズで紹介します。

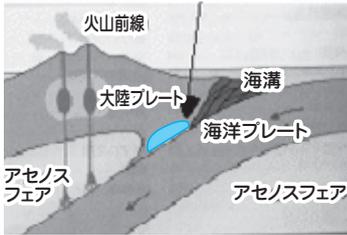
《問合せ》観光課 ☎21-9016

山陰海岸ジオパークは、認定を受けて世界の資格ができました。これからは中味の充実が期待されます。

今年、世界認定されたのは、韓国の済州島・スペインのバスク海岸・カナダのストンハンマー国立公園などです。どの地域も高く評価されており、都市部から遠く離れ、地域振興を目指しているところなども同じです。このように、日本国内はもとより、海外のジオパークでも一斉にジオパーク活動がスタートを切りました。

今後の課題の一つとして、ジオサイトの見直しや整備があります。例えば、但東町の地質は日本海形成時期から数億年古く、ジオサイトに挙げられていませんでした。但東町正法寺付近には約4億5千万年前の古生代の

蛇紋岩の生成



▲日本列島の断面図



▲シルク温泉(但東町正法寺)付近の蛇紋岩

蛇紋岩があります。蛇紋岩というのは、地下深くのカンラン岩が海水と反応してできた変成岩です。蛇紋岩からはヒスイや滑石・ニッケル鉱床などの鉱物が産出します。但東町では、これらはまだ見つかっていませんから、今後に期待されます。

また、山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局では、次の4分野の組織を通して今後の経営方針を強化します。
・学術部会(学術研究や広報)
・ジオツーリズム部会(観光や地域振興)
・教育部会(学校教育や生涯教育)
・地域連携部会(保護保全と地域連携)

山陰海岸ジオパークの取組みは、今、日本各地のジオパークから注目されています。

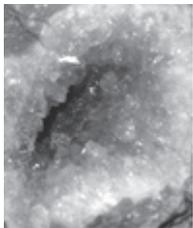
教えて「ぢやん」



●水晶もメノウも同じ石？

6月25日号の市広報紙で金の話をしたが、今月は「水晶」の話じゃ。「水晶」は、日本では良く知られている宝石じゃが、市内でも各地で産出しておるぞ。どこにあるか地域の人に聞いてみると、「昔は〇〇谷でとれた」とか「△△峠で拾ったことがある」という情報ももらえると思うぞ。

「水晶」とは、六角形をした石英のことじゃ。高熱のどろどろの石が冷えていくと、いろいろな鉱物が順番に固まっていくんじゃが、最後に固まるのが石英なんじゃ。だから、石英は最後のすき間を埋めることになるので、不規則な形になってしまうんじゃ。グラウンドの土をよく見てみると、透明な小石が見つかるが、これが「石英」



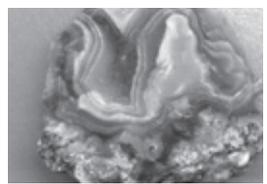
▲水晶(竹野町産)



▲碧玉(竹野町産)

しかし、何かの拍子にすき間や空洞ができ、周りに邪魔されな場所です。水晶が固まることあるんじゃが、このとき、きれいな頭のとがった六角柱ができる。これを特別に「水晶」と呼ぶんじゃ。中でも紫色のもののは「アメシスト(アメジスト)」といい、2月の誕生石になっておる。

宝石に「メノウ」や「碧玉(ジャスパール)」というものがあるが、これらも石英の仲間じゃ。この2つは、肉眼では見えないほどの小さな石英の粒が固まったものじゃ。碧玉はあまり聞き慣れん宝石じゃが、きれいな色(特に緑色)のものはヒスイ同様に勾玉に使われており、古墳から出土しておる。ちなみに、ヒスイも碧玉も硬い石なので、昔の人は、細工に苦労したんじゃろうなあ。



▲メノウ(竹野町産)